

「第2回市民と市長のふれあいトーク」対話概要

団体名 さわやかネット蔵波台
実施日時 平成29年7月30日（日）午後3時～4時40分
実施場所 蔵波台自治会館
出席者 さわやかネット蔵波台 18名
市長・秘書広報課 2名

1 市長説明

「袖ヶ浦市のさらなる発展をめざすまちづくりと市政への取組み」

【説明項目】

- 袖ヶ浦アンダーパスおよび富川橋の開通と主要道路整備について
- 椎の森工業団地の現状と今後について
- 少子高齢化や人口増に向けた課題および施策について
- 産業基盤の確立について
- 協働のまちづくりについて

2 意見交換

～地域の安全について～

蔵波台：高齢者の交通事故多発を受け、免許証の返納が進められているが、返納した場合に袖ヶ浦市では何か見返りがありますか。

市長：市としての特典はありません。バス会社によっては特典がありますが、市としても課題と考えているところです。今年度中に関係機関と協議します。



蔵波台：山間部などでは、免許証を返納すると交通手段が無くなってしまいます。

市長：山間部などでは車がないと不便なので、高齢者が一人で運転するケースが増えており心配です。移動手段としてはNPOによる輸送サービスがありますが、買い物難民の問題もあります。その対応として、生協にお願いをして移動販売を行ってもらっています。

これは生協の社会貢献事業の一環で、市内では花房平で行われています。一か所では利益が出ませんので、他の地区でも行いたいと

ころですが、生協側は地元商店に配慮するため自分から進出はしません。地元から販売要望があれば行ってくれるのですが、なかなか要望を出すところがないのが現状です。

蔵波台：蔵波台では宅地開発が進み、子どもが増えています。学校区の区割りや、通学の安全について検討されていますか

市長：蔵波台の奥はミニ開発が進んでいます。一定の条件を満たす場所については市街化調整区域でも小規模な開発ができるという制度を利用して開発しているものです。人口が増えるのは良いことなのですが、計画的に開発を進める市街化区域とは違うので、開発後に道路の幅など色々な課題が出てきます。通学の安全について、蔵波台のある場所では、信号機の設置について公安委員会に毎年要望を出している状況ですが、交通量調査等の結果、設置に至りませんでした。また、その場所は見通しの悪い場所なので、横断歩道は一層危険になる恐れがあるため設置していません。他にも、交通量が日常的に多いわけではないという理由から歩道の設置には至らず、ガードレールで対応している場所もあります。

学校区については、蔵波小学校は市内一のマンモス校であり、仮設校舎の設計を行っています。学校区の再編についても、今後、見直しの必要があると思っています。

蔵波台：自転車のマナーが悪く、大変危険だと思います。自転車を買ったら運転ルールについての受講を必修とするなど、指導体制やルールの制度化を検討してください。

市長：小・中学校等で自転車の乗り方について指導しており、今後も継続していきます。自動車も自転車も、買う人と乗る人が同じとは限りませんので、受講の制度化は難しいと思います。

蔵波台：自転車のマナーも悪いと思いますが、自動車の運転マナーも良くありません。市内では時速30キロメートルの速度規制をしたエリアがあると聞きます。猛スピードで子どもの側を走る車が多く、ガードレールも無いような小さな交差点では、一度事故が起きれば、命に直結する大事故になりかねません。平然とスピードを出す自動車を排除したいので、蔵波台では平成通りとかつおり通り以外を速度規制エリアにしてください。

市長：ゾーン30は、幼稚園や保育園、公共施設等の付近で、見通しが悪いなどの条件を満たす区域を時速30キロメートル以下で走行するように規制する制度です。これは、地域の皆さんからの申請によって千葉県公安委員会が指定するもので、市内では、福王台保育所付近、今井幼稚園付近、中川幼稚園付近の三カ所が指定されています。地元の方の合意形成が必要となりますので、合意形成がなされたら申請をしてください。

蔵波台：高速で走行する車が多くあり、警察官が立っているだけでも抑止効果があると思われるので立ってもらいたいのですが、長浦駅前交番の警察官が減員となったためできないと言われました。

市長：危険個所を言っていただければ、市から警察に依頼します。



蔵波台：袖ヶ浦市には警察署も幹部交番もありません。木更津市との人口割で考えたとしても、もう少し警察官が必要だと思います。

市長：市制施行時から警察署の設置を要望していますが、県も予算がなく実現には至りません。市役所の改修に合わせて、新庁舎へ警察官の常駐を要望しましたができないとの回答でした。海側地区が開けて人口が増えますので、今後も警察官の増員や警察署の設置について引き続き要望していきます。

蔵波台：菜の花苑付近の道路にガードレールが設置されましたが、歩行者の通る幅が狭いことから車道側に出る人がいるため、より危険になったと思います。

市長：菜の花苑付近のガードレールは、地元からの要望により設置したものです。歩道が作れば良いのですが、用地等の問題もあるためなかなか困難です。

～協働のまちづくりについて～

市長：協働のまちづくりとは、様々な地域の課題を、市民の皆さんの力を借りて前へ進もうというもので、その仕組みづくりとして条例を整備し、認識を一致させていこうとしているところです。まず、各地域に地域協議会を作ってほしいと思っています。交通安全や子育て支援、防犯など色々な分野における地域の課題について、できることは協議会の中で取り組み、市が支援をする制度を作りたいのです。分野ごとの連携や報告が不足している部分があったり、地区の役員の任期が1年程度と短い地域では、課題の引き継ぎがうまくいかないことがあります。継続的に役員をやり、課題を正確に把握し、実践・活動して課題をクリアすることが大切ですので、まずは情報交換の場から始めてもらいたいと思います。

蔵波台：協働事業提案制度については、蔵波公園の件で都市整備課に相談したところ、職員の中には、制度を理解していない人がいると感じました。各部署でしっかりと教育し、できることできないこと等について組織として解るようにしておくことが必要です。

市長：自分の担当業務はよく解るが、他はよく解らないということが有りがちですが、市役所はそれではいけませんので、私は、新規採用職員研修の際に、「幼稚園、保育所、消防、どれも市の職員であり、市の制度の概要を知っている必要がある。」と話しています。協働についても知らないといけませんし、使い勝手を良くしていくことも必要です。

蔵波台：行政センター等に蔵波台地区担当職員を置き、協議会を担当させるということはどうでしょうか。

市長：文書、予算、会議案内の取りまとめ等、事務局のようなまとめ役が必要だと思います。協議会のモデル地区を作り、先行して課題等を見ていきたいと思っています。制度発足の際には、そのような職員も必要であると感じています。

蔵波台：まちづくりを進めるにあたり、ボランティアの力は大きいと思います。ボランティアの更なる活性化のためには、クローバー賞のように表彰してもらえることが重要ですが、市内にはそのような財団や制度がありません。市で企業に持ち



かけてください。

市長：私も同様の考えです。クローバー賞は新日鐵住金の社会貢献事業として実施しているものです。袖ヶ浦市の企業でも地元との付き合いを大切にしているところがありますが、どこも予算が厳しくなっています。市では生涯学習奨励賞や社会功労表彰があります。

蔵波台：公園の老朽化したトイレを計画的に修理していくかと思っていたところ、そうではないので、市民として大変残念です。予算を言い訳にするのではなく、最低限のものはきちんと整備し、プライドを持った行政をしてください。

蔵波台：公園のトイレの改修をお願いしたところ、「前例がない」と断られてしまいましたが、前例云々で判断したのでは、今後ずっとできないことになります。

市長：財政については健全で心配ないのですが、今後に備えているところです。公園のトイレについては、将来の基本的な考え方など明確なものがないので、どうすべきなのか基本的な方針を作り、考え直す必要があると感じています。

蔵波台：石炭火力と火葬場はどうなっているのでしょうか。

市長：石炭火力については、九州電力、東京ガス、出光の3社で千葉袖ヶ浦エナジーという会社を作り、中袖の出光バルクターミナルの敷地に100万KWの発電機能を備えた発電機を2台備えた発電所です。完成までには環境アセスメントという手続きがあります。環境審議会の意見をもらい、市でも二酸化炭素や粉じん、騒音、温排水などの意見を県に出し、県の意見を国に上げます。地球温暖化やアメリカのパリ協定脱退問題などもあり、難しいところです。火葬場については、4市共同により木更津市の現在ある火葬場の敷地を拡げて建て替える予定で、建設費や運営費、地元対策費の負担割合などを協議しています。